

小児外科

スタッフ紹介



診療部長
おの しげる
小野 滋
教授 (H3)
小児呼吸器外科
新生児外科
小児腫瘍外科

ふみの 文野 きん 金	しげひさ 誠久 きよかず 聖和	准教授 (H9)	小児外科全般、小児腫瘍外科、脈管奇形
いぐち 井口 いのうえ 井上	まさふみ 雅史 まほ 真帆	講師 (H21)	小児外科全般、新生児外科
ながやぶ 永藪	かずや 和也	助教 (H25)	小児外科全般、小児内視鏡外科
		助教 (H25)	小児外科全般、小児内視鏡外科
		助教 (H25)	小児外科全般、小児肝胆膵外科

私たちの業務

◆ 小児外科専門医による高度な医療の実践

当科では「世界トップレベルの医療を地域へ」という京都府立医科大学附属病院の理念のもと、若手医師の育成を行いながら、新生児、乳児、学童、思春期にいたる小児外科疾患の診断・治療に高度な知識と経験を生かした医療を実践しています。

◆ 成育医療を目指した地域医療との連携

小児外科の場合、疾患の治療のみならず、術後の子どもたちの成長・発育もあわせて診療・指導していくことが大切です。手術を受けた子どもたちが健やかに育ち社会に適応できるよう、長期にわたって地域の先生方と連携を取りながら外来及び入院での検査・治療に当たっています。

◆ 小児救急

外傷、急性腹症、鼠径ヘルニア嵌頓、異物などのcommon diseaseから、高度な技術を要する新生児外科疾患まで24時間体制で入院、検査、治療ができるよう、特に三次小児救急医療に万全の体制を取っています。

◆ 小児低侵襲手術（内視鏡手術）

手術を受けた子どもたちがよりよいbody imageで精神的、身体的に発育できること、そして手術侵襲や術後疼痛の軽減を目的に、できるだけ体に優しい低侵襲な手術を目指して、鏡視下手術の技術や可能なかぎり小さく目立たない創部を駆使して、小児外科手術の実践、開発に力を入れています。

◆ 周産期医療の一環として

近年、超音波機器、MRIなどの画像検査法の発達により、出生前に胎児異常が見つかる症例が増えています。このような場合は、産科への母胎搬送の後、産科、新生児科などの周産期医療チームと連携を取りながら、分娩時の緊急事態に備え、重篤な小児外科疾患に対して迅速な対応ができるようにしています。

◆ 小児がん拠点病院としての小児がんに対する高度外科治療の実践

平成25年に当院は地域の小児がん治療の拠点病院として、厚生労働省により「小児がん拠点病院」の一つに制定されました。ここでは、小児科や関連診療科とともに小児がん患者さまに対して集学的治療を行っており、当科は高度外科治療として、腫瘍生検、腫瘍切除、臓器移植、外科的支持療法を行っております。また、カンサーボードにより常に多診療科や多職種スタッフと連携しています。さらに当院のみならず、全国からの外科治療に関するセカンドオピニオンも受け付けております。

外来診療担当医師予定表

令和8年4月1日現在

	月	火	水	木	金
一 診		【初・再診】 文野 准教授(AM) 【再診】 永藪 助教(PM)		【初・再診】 金 講師(AM) 【再診】 金 講師(PM)	【初・再診】 永藪 助教(AM) 【再診】 文野 准教授(PM)
二 診	【初診】 担当医(AM)	【初・再診】 井上 助教(AM) 【再診】 井上 助教(PM)	【初・再診】 小野 教授 (AM)	【初・再診】 井口 助教(AM) 【再診】 井口 助教(PM)	【再診】 担当医(AM・PM)

実際の診療

病名・病態	必要な診療	当科の対応
新生児外科 呼吸器 気道疾患 先天性横隔膜ヘルニア 嚢胞性肺疾患 消化器 食道閉鎖症 小腸閉鎖症 直腸肛門奇形 腹壁異常 腹壁破裂、臍帯ヘルニア	集中呼吸循環管理 集中呼吸循環管理（体外膜型人工肺） 集中呼吸循環管理 集中呼吸循環管理 集中呼吸循環管理 病型診断（X線撮影、尿道造影） 輸液・呼吸・循環管理	硬性気管支鏡、気管形成術 横隔膜修復術 肺切除術 根治手術 根治手術 人工肛門造設、根治手術 緊急手術（一次的または二次的手術）
小児悪性腫瘍	小児科、放射線科、病院病理部など、カンサーボードによる集学的治療の一環としての手術治療	腫瘍生検、腫瘍摘出術
肝・胆道疾患 胆道閉鎖症 胆道拡張症	他の乳児期肝疾患との鑑別診断 脾・胆管合流異常の有無の診断	肝門部空腸吻合術 胆道再建術
漏斗胸	重症度および手術適応の診断	矯正バーによる胸腔鏡補助下胸骨挙上術
便秘の診断・治療 ヒルシュスプルング病 慢性便秘症	注腸検査、直腸肛門内圧検査及び 直腸粘膜生検による鑑別診断	根治手術 内服、浣腸による排便管理
排便障害 遺糞症、直腸肛門奇形術後	注腸検査、直腸肛門内圧検査	内服、浣腸による保存的治療
重症心身障害児（成人例も含む）の消化管機能障害	原因検索を行い手術治療の必要性を検討します。（造影検査、pHモニター、食道インピーダンス、3D-CTなど）	腹腔鏡下噴門形成術・胃瘻造設術・喉頭気管分離術など
小児外傷、急性腹症、異物誤飲（例：実質臓器損傷・急性虫垂炎・腹膜炎、腸閉塞、急性陰嚢症、腸重積、消化管・気道異物など）	各病態に応じた迅速な診断治療	24時間体制で救急受入します。下記にご連絡下さい。
鼠径ヘルニア・陰嚢水腫・停留精巣	診断がつき次第、手術予定をたてます。	鼠径ヘルニア・陰嚢水腫手術（Potts法・腹腔鏡手術の両方を症例に応じて行っています。） 精巣固定術（鼠径法・陰嚢法・腹腔鏡法を選択します）

2025年1月～12月の症例数

入院患者数	552
男児	329
女児	223
新生児症例	23

総手術数	351
新生児手術数	15

府立医大 小児外科 医局 TEL 075-251-5809 FAX 075-251-5828
 URL <http://pedsurg.kpu-m.ac.jp/>

救急対応 小児医療センター外来 TEL 075-251-5043（外来時間帯）
 救 急 外 来 TEL 075-251-5645・5646